

令和7年9月1日(水) 18:30～ 金屋小学校 I 統合検討会 (於: 荒川地区公民館)
参加者: PTA役員14名・保育園保護者会役員3名・学校運営協議会委員7名・区長会代表4名・学校2名・市教委5名 合計30名(市教委除く)

市教委 それでは、定刻になりましたので、始めさせていただきたいと思います。
皆様こんばんは。本日は大変お忙しいところ、貴重なお時間をいただきまして、大変ありがとうございます。私は荒川教育事務所の本日進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、教育長からご挨拶の方よろしくお願いいたします。

市教委 皆様、お晩でございます。教育長の遠藤といいます。金屋小学校、それから金屋保育園の保護者の代表の皆様、金屋地区区長会代表の皆様、小学校学校運営協議会委員の皆様には、本当に夜分お疲れのところ、統合検討会にご出席いただきましてありがとうございます。

先般8月20日に、先に保内小学校の統合検討会を開催させていただきました。その時の資料もお手元におありかと思うんですけども、たくさんの方から様々な観点からご意見を頂戴することができました。今日のいろんなご意見があるかと思うんですけども、どんどんお出しいただいて、前回、金屋小学校の保護者の皆様との説明会では、9時半近くにまでなってしまう大変皆様にご迷惑をおかけしましたので、本当に、どんどんご意見をちょうだいして、次の今後の予定の方、どう進んだらいいかを、ご意見それもご意見賜りたいと思います。どうか本日はよろしくお願いいたします。

市教委 (市教委自己紹介)

市教委 ありがとうございます。本日の会議を、可能であれば、午後8時ごろに終わりたいと考えておりますので、皆様ご協力の方、よろしくお願いいたします。

それでは、まず今日の資料の確認からさせていただきたいと思います。まず、本日の統合検討会の次第、A4版1枚。それから、カラー刷りの、第2次村上市立小中学校望ましい教育環境整備計画方針概要版というカラーのこちらです。第2次村上市立小中学校望ましい教育環境整備計画方針(抜粋)というA4版白黒両面刷り裏に抜粋と書いてあるものになります。それから、アンケートの結果、カラーのA3版になります。そして、金屋小学校学校統合懇談会での保護者の意見(抜粋)A4判の白黒両面。そして保内小学校1統合検討会での保護者の意見(抜粋)こちらもA4判の白黒。令和7年度、検討会試行スキームスケジュール、裏面に荒川地域2小学校児童数推移という、これも白黒A4版両面のものになります。そして最後に、学校統合保護者アンケート、課題不安要素、A4の白黒印刷のものになります。資料たくさんありますが、皆さんない方いらっしゃいましたでしょうか。

それでは次第4番に移りたいと思います。これまでの経過及び今後の予定になります。まず初めに、教育委員会で学校統合について作成しました。カラー版の望ましい教育環境整備計画方針概要版の方、簡単に説明させていただきます。

資料のこの概要版をご覧ください。こちらの3ページをお願いいたします。望ましい教育環境に関する考え方になりますが、この2枠目望ましい学校規模とはのところになりますが、教育委員会が考える望ましい学校規模とは、小学校は1学年2学級の通常学級12学級を目安とします。また、地域との繋がりに重点を置いて、1学年1学級20人以上の通常学級6学級以上の規模を基準としています。

次に6ページ、お願いします。村上市立小中学校統合計画とありますが、当地区、保内小学校、金屋小学校は、令和7年に検討を開始し、令和10年に統合という計画

になっております。

それでは次にアンケート結果に移りたいと思います。資料のカラー版アンケート結果をご覧ください。前回5月下旬に実施いたしましたアンケート結果です。ご覧のとおり結果となっておりますけれども、保内小学校見ますと、賛成が44.8%と32.4%はどちらかといえば賛成、18.6%はどちらともいえない、3.3%どちらかといえば反対、1%が反対。金屋小学校は、22%が賛成、18.6%がどちらかといえば賛成、16.9%どちらともいえない、10.2%どちらかといえば反対、32.2%が反対。下に行きますとあらかわ保育園、50.8%が賛成、21.7%がどちらかと言えば賛成、22.5%がどちらともいえない、5%がどちらかといえば反対。右金屋保育園になります。31.9%が賛成、27.7%がどちらかといえば賛成、14.9%がどちらともいえない、10.6%がどちらかといえば反対、14.9%が反対となっています。

それでは次に、金屋小学校区学校等懇談会での保護者の皆さんの意見になります。資料の金屋小学校区学校懇談会での保護者の意見（抜粋）A4版をお願いいたします。こちらは主に金屋小学校の皆さんの意見ですけれども、主なポイントとしては、統合によって学校の独自の、行事がなくなってしまう。学校がなくなることで、地域の活気がなくなる。地域と繋がりが少なくなる。また、統合後の校舎はどちらになるかは決まっていないということでした。こちらの意見につきましては先月の保内小学校の統合検討会で委員の皆さんにもお伝えいたしました。

保内小学校の統合検討会での保護者の意見についてですが、資料の保内小学校1総合検討会での保護者の意見（抜粋）をお願いします。保内小学校の皆さん、主におっしゃっていたのは、子供たちのためには望ましい教育環境が必要であるが、不安が残ったままで統合しても、あまりいい結果にはならない。また、実際に金屋小学校の保護者の方が、保内小学校を見学する機会があるとか、逆に保内小学校の方が、金屋小学校のよさを認識する機会があるとか、できるだけお互いの交流を深めていって、その先に答えを出す機会があるといいのではないかなどの意見がありました。

本日の金屋小学校の統合検討会では、金屋小学校、金屋保育園の保護者の皆様、地域の区長さんの代表の方、金屋小学校学校運営協議会の皆様のご意見を伺い、できれば、次の合同統合検討会に入ることにについてご了承いただければと考えております。

それでは、意見交換に移りたいと思います。皆様からご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

保護者

本日は貴重な機会をいただきまして、大変ありがとうございます。前回の保護者懇談会のお話の確認、いらっしゃった方もいますしいらっしゃらない方もいますし、区の方もCSの方もいらっしゃるので、一応確認を1つさせていただきたいのと、ご質問が2つお願いしたいです。まず、この今の検討会、開いてますけれども、このメンバーの総意で、合同検討会に進めないという判断になったら、これは統合はできないということは変わらないということですのでよろしいですよというのが1点目の確認でございます。

2点目が、この保内小学校さんの検討会の意見を見ますと非常に金屋のことをおもんばかっていただいて、ありがたいなというふうな、気持ちがあるんですけども、この保内小学校さんって出た意見に対してどのような回答がなされたのかっていうところが気になるんですけども、主立ったところでも構わないので、例えばこの保内小学校の方が金谷のよさを認識する機会を作るのはどうなのかっていうことに対してどういう回答がなされたのか、不安が残ったままで統合したとしてもあまり良い結果にはならないがそこを解消するすべはないのかという意見に対して、どういう回答がなされたのかっていうところが、非常に気になる場所なんですけれども、教えていただければと思います。2点よろしく願いいたします。

市教委

それでは2点お答えさせていただきたいと思います。

1点目この統合検討会の総意で進まないとなれば、進まない、進められないというふうに私ども考えています。教育委員会、計画作った以上そこで諦めるとか、またこれを頃合を見て、皆さんどうですかということはあるかもしれませんが、ここで反対なのに、強引に進めることはできないというふうに考えます。

あと保内小の保護者の意見に対してということですが、それぞれの良さを認識する機会ということにつきましては、その統合前に金屋小保内小の交流というのをどんどんやっていって、そういった機会を持てるようになればいいなというお話をさしてもらいました。

また、仮に合同に進んだとしても、合同の協議の話し合いの中で、お互いの校舎の見学会とかやってる地域もありますので、そういった不安解消が合同の中でできればいいのではないかと、そのような話をさせていただきました。よろしいでしょうか。

保護者

すいません。その下の不安が残ったままで統合しても、あまりいい結果にはならないのではないかと、かかっていることとか、その下も気になるし、何かこうどうという回答であったのかなというところが全般的に気になるんですけども。我々としては、子供の数が少なくなっているの、その統合ということは、計画については理解してるんですけども、その不安であったりとか、これがこうなるんだっていうのがまず期待感を持っていいですか、お互いが良くなるために進んでいこうというふうになれば、具体的に考えが出てくるかと思うんですけども、今実際ここで保内小学校さんの方から金屋の側をおもんばかっていただいてこういう言葉が出ていて、それがこういうふうになりますよとか、こういうふうを考えてますっていうことを、いただければ、我々も不安が少し和らいでいくのかなとか、具体的に姿を考えられるのかなと思うんですが、ということでこういう意見があったということは非常にありがたいんですけども、それに対して、計画をされている側はどのようにお考えであって、どういう期待とか未来を我々に見せていただけたのかというところが気になっております。

市教委

はい。不安を抱えていることに対しては、先ほども申し上げましたけども、交流とか、様々な子供たち同士の交流もありますし、保護者同士の行き来というものもあると思うんですね。そういったものを、これから汲んでいって、そういった解消につなげていきたいということで、私の方ではお答えさせていただいたということになります。

一番下の、令和10年、財政的な問題があるのかというご質問もありました。これに対しては、財政的な問題で令和10年というふうに、落とし込んであることではありませんということでお答えをさせていただきました。

保内小学校の令和9年から10年11年、12年と年々、今2学級ある学年が1学級になってきます。教育委員会の方では、先ほど申し上げましたように、1学年に2学級というのが標準的な理想的な望ましい環境だというふうに考えておりますので、それを確保するためにも、そういった意味からも令和10年という選択をしてるんですよということで説明をさせていただきました。

区長

確か前回の区長会の会議のときには、合併ありきという感じでお聞きしたんですけども、この説明会だと、統合検討会で反対されれば、しないんですか。そういう考えでいいですか。ちゃんと合併する期日も決まってる、じゃ今後、統合するにあたっては、どうした方がいいですかねっていうような感じで、お聞きしたんですけども。今の話だと皆さんも反対すれば、合併はやらなくてもいいというような考え

で受けとめたんですけど、これはどちらが正解なのでしょうか。

市教委

はい。私の方からお答えさせていただきます。今区長さんが言われたように、2月でしたでしょうか。区長会の織には、これから予定された年の統合に向けて話し合いを進めていくというお話をさせていただきました。
この会で統合反対となれば、それでおしまいになってしまうのかっていうお話ですけども、私たちは、金屋小学校さんの子供のためだけだとか、保内小学校の子供のためだとか、そういう考え方をして提案しているではありません。
荒川地域全体のこれからの、少子化の中で、どういう荒川地域の学校の姿にすればいいのかということと提案させていただいてるんです。
今日のこの会議で、いや反対だとなれば、将来のこの地域の子供たちの学ぶ姿に責任を持っていただけるのか。ということ、教育委員会としては考えております。だから、先進むにつれて、本当に少なくなることが予想されますので、おそらく、このPTA 副会長さんなどの、そうすると本当に統合やむなしということは選択肢の中におありなのかもしれません。だから、本当に将来を見据えて、教育委員会が10年度、4月に統合をっていう提案させていただいてるんですが、それについて、様々な観点からご意見をいただきたい。そしてできれば、保内小学校と合同検討会の場で皆様方の不安を解消できるように、すべて解消できるとは思いませんが、今日この場で少しでも解消できるように、そして両校の代表が集まって、集まる場でも解消できるように、そしてより良い荒川地域の学校を作っていたいただければなと思っております。よろしく願いいたします。

区長

どうぞよろしく申し上げます。今、名割の区長さんもおっしゃったんですけど、私は2月でしたか、説明を受けまして、そのとき私も申し上げたんですけども、基本的に子供がどんどん減っていくっていうのは多分、多分、保内小学校だろうが金屋小学校だろうか、地域の方みんなやっぱりこれから減っていくっていう状況はみんな知っていると思います。その中で、この学校統廃合問題を統廃合という統合問題をですね、進めるときに、一番大事なのはやっぱり、それぞれの不安を解消していくという、これが一番大事じゃないですかっていうことを申し上げて、次のステップに行くことについて区長会として特別反対とか議論にはならなかったというふうに認識しております。
そんな中でですね、前回懇談会が設けられて、今回、検討会なんですけども、ちょっと私なりに感じてるのは間違ってるかもしれませんが、教育委員会としてのスタンスが少しぼやけてるっていうかですね、そういうふうにはちょっと受けとめるんですっていうのは、具体的に言いますとですね、統合する学校は、保内小学校でも、金屋小学校でも場所は決まってないというお話があったようなんですけども、本当にそうなのでしょうか。そういう提案から始めるのでしょうか。そうじゃなくて教育委員会としては自信を持ってっていう確信を持ってですね先ほど教育長がおっしゃったように、荒川の地域の子供をですね、健全にやっぱり育てていきたいって思いからしたらですね、基本的なガイドラインとか考え方ってのはある程度示して、こういうことできたいっていうのを明確にしていかなかったら、合併する学校はかなり小学校にもなるかもしれませんって言われるとですね、そうするとなんだこれっていうむしろ不安の方がかえって出てきます。だからもう少しですねやっぱり教育委員会として自信持ったこの何っていうんすか統合に向けたスタンスというかですね、これを明らかにしてもらった方がいいのかなっていう私の考えです。
もう1つはですね先ほどの金屋小学校の懇談会で、いろいろ意見出ました。やはりこれに対してですね、やっぱり丁寧に返していくっていう、今回の資料もですね、意見がありましたっていうのはありますけども、どういうふうにしていきますってのは残念ながら資料に出てない。意見だけが出たってのはですね、これ聞くだけなのかなというふうに受けとめられます。

だからやっぱりそういうところからですね、丁寧なやっぱり解消という、そういう教育委員会としてのやっぱりスタンスっていうかですね、これを大切にさせていただけないかなというのが私の意見です。以上です。

市教委

はい。区長さんありがとうございました。

1点目についてですけれども、保内小学校の先日の統合検討会でも、同様のことをやりました。教育委員会の本音は何なんだと、はっきり示してくれと言われました。建前上といえば失礼なんですけれども、建前上は、次のステップの合同統合検討会で、両校の代表の人が、その使用校舎、それから、正式な統合年度、それから閉校の仕方、両校が閉校するのか、片方しか閉校しないのか、ということを決めるとなっておりますので、正式にはそのようにお答えしました。ただ、これまでの広報で、どういう学校の校舎が選定されてるかということ、校地、校舎が広い学校、新しい学校、共同調理場がある学校、そういうところを優先させてもらってましたというお答えをさせていただきました。ただ、だからといって、保内小学校だと、その場で答えることはできませんでした。やはり合同検討会で決定していくべきことなんだと思います。1つ目については以上です。

それから2つ目について、教育委員会でも、ただ意見を掲載するだけじゃなく、それに対する解決策を示すべきだっていう、事前の打ち合わせございました。なので、特にこの場で、ここ、納得できないというのありましたら、もう一度出していただいて、できる限り、お答えまじたいと思います。その上で、両校で話し合うのが、解決策だと思われる部分は、合同検討会にステップを踏んでからお出しただければ、と思っております。ご最もなご意見だと思います。ありがとうございます。

区長

皆さんに出席してきているので、皆さん意見あると思うんですけども、せっかく出席してるんで、一人一人の皆さんに意見を聞いた方がいいんじゃないでしょうか。せっかく来たんですから本音でやっぱ話し合うというのが大事だと思うんですよ。私はいつも思ってるのは、子供です。お子さんが本当に不安を持って、このまま合併するのっても不安なんで、皆さん保護者、それからPTAの役員さん方いるんで、皆さんに一言ずつ。

学運協

よろしくお願いします。児童数の変化を見て、先ほど目指す規模ということで、2学級以上20人以上ということ、というふうに思っていました。それにかんがみて、平成10年度以降、もし合併しなければ、保内小学校は、どのぐらいのクラス数になる予定でしょうか。今、要するに、この10年度に金屋小学校が合併しなければ、保内小学校はどういう状態になるということでしょうか。

市教委

はい。ほとんど1学級になると思います将来的に。だから、保内小学校の皆さんにも、統合は必要なんだと、金屋小学校の皆さんも人数が少ないので、一緒になれば、当面2学級を維持できるのではないかと、おそらく保内小学校、来年1年生1学級になると思います。

学運協

ちょっと、聞きたいことは3つあるんですけども。1つはまず、望ましい教育環境で、2クラスが望ましいとかあるんですが、ただ、私もそう思うんだけど父兄の方々も、子供の教育っていうかやっぱり、大人数の子供たちを1人の先生が教えるのでは、理論的っていうかな、多い方は必ずこの社会性が身につくとかっていうそういうことを言われるんだけど、本当にそうなのか。それよりも、例えば余裕のある家庭の方々、一対一の教育は非常に裕福っていうかな、贅沢な教育ということで考えられますよね。だからそういう意味からしたら、今の金屋小学校は非常に子供たちに対して、贅沢な教育をやられてる。だから、言いたいことは、少人数学級が悪いっていうか、複式学級が悪いっていうようなとらえ方に感じるの、かつ

て先生で複式学級を経験された方々にしてみたら、自分たちがやってきたのを否定されてるということで非常にお怒りだっというのを聞いたこともありました。そういう意味で言えば、あと教育者でも聞いた話では、その本当に大人数で社会性を云々って、立派な人間になるっていうそういう理論ってのはないんだってというふうなことも聞きました。だからそこら辺がまだ曖昧で、ただそこで20人以上が望ましいと言われる理屈がよくわからない。それよりも、ぶっちゃけ、要は経済性、要はお金かかるから、とにかく学校数を減らしてコンパクトにするんだという思い、非常に強いのかなと思ってるわけです。

だけれども、実は私、まちづくり協議会の方でも代表やってるんですけども、そちらで、湯沢町、あそこはもう保育園と小学校、中学校はもう1つの建物にしたんですね。今進んでる例なんですけども、結局やっぱりコンパクトにして、経費を少なくしたいっていうことで、新潟大学の副学長2人を入れて、検討会を3年ぐらいやって実施したけども、現状どうですかって聞いたら、かえってお金かかりますって話だと。だから、そんなに数の経済性云々だけでは、ちょっと的外れになることだってある事例だと思います。だから本当はやっぱり経済性か、まずありきかなと正直思います。

あとは本当はちょっとここで多分答えられないと思うんですけども、東大の牧野先生っていう、教授を実は2年前にお呼びしていろんなことを、講演会やったんですけども。中教審の委員やられてますので。いろんな話聞いたときに、山北の方では、来た方々に質問があったりして、いろんな話出たときに、山北でも統合されて、学校がなくなったところは、もう、祭りが何年かしたらなくなりました。そういうあれでは、もうなくなっちゃった。要は衰退していったってことなんです。そんなんで、多分それには教育委員会でお答えはできないと思うんですけども。結局、例えばこのまま行くとかなり金屋小学校はなくなって、子供たちは、保内のほうにいて、仮定の話ではあるけど本当ほとんどそうなると思います。そうしたときにその地域の衰退ってのは明らかに進むと思われるけども、それに対してのあれが何も無いように思われます。その3点が非常に心配、ちょっとそれ答えられない部分もありますけども。ある意味片手落ちなのかなっていう気はいつもしています。以上です。

市教委

はい。それではまず、経済性の方からなんですけれども、例えば今、この地域はそんなに考えてないんですけれども、村上小学校と村上南小学校、それから村上第一中学校と村上東中学校、その両方の統合については、校舎を、長寿命化工事とって、ものすごくお金をかけなければならないんです。すると村上小学校にも村上南小学校にも10億以上のお金をかけて校舎を直す。なんて言う余裕おそらく村上市にはございません。だからどちらかの学校になれば、やはり両方とも今2学級維持できなくなってきてますので、片方にお金をかけて、2学級を維持できるようにしていこう、例えばそういうふうなことは経済面で考えております。金屋小学校さんもプールだいぶ傷んできておりますので、それを全面改修するのがいいことなのか、いや保内小学校の立派なプールがあるんで、そこを使えばいいじゃないか。というお考えもあるかと思えます。今、プールのことが真っ先に、この地域では頭に思い浮かべました。

それから地域の衰退ですけれども、この地域の皆さんが子供たちに関わるすべは、学校通さなくてもございます。それは学校があれば、よりよい関わり方ができるとは思うんですけども、例えば高根地区とか、もういろんな関わり方をしております。だから、本当に学校がなくなる、子供たちが他の地域に行けば、地域が衰退するというのが、イコールではないと思います。本当に金屋の皆さん、例えば金屋から学校がなくなったら、何らかの方法で、おらだり塾とか、学校も活用できますけれども、いろんなそういう地域の皆様の力で子供たちを巻き込んで、活性化させることは可能なんじゃないかと思えます。難しいお話だと思いますが、もう金屋の子供たちだけじゃなく、荒川地域の子供たちに愛情を注いで、地域の子供、みんな

見守ってやれるような、地域であればいいなと思っております。

それから、人数が多いのがいいのか少ないのがいいのか。教育委員会は、できれば、学年2学級、小学校だったら12学級、それが最低、いい学校なんじゃないかと、学校ってのは失礼ですけども、望ましい規模の学校なんじゃないかと、文科省も考えております、県教委も考えております。ただどうしても学年2学級を維持できなかつたら、1学級20人以上、以上といえど30人でも35人でもいいのかとなりますけれども、そこまでいくと、今の保内小学校のようになってくるんです。30何人で1学級っていうのは、先生なかなか大変です。保内小学校にとってもデメリットなんです。だから、金屋小学校と保内小学校合わせれば、当面20人程度の2学級を維持できて、より子供たちが切磋琢磨できる環境を維持できるのではないかと。複式が悪いとか、少人数が悪いとか、そういうことは言ってるわけではないですけども、本当にますます少なくなってきたときに、今の保育園の子供たち、その子供たちが小学校に上がったとき、そういう環境でよろしいのかと。仮に15人いたとき、もう男女の偏りがものすごい学校があります。人数が少ないと、そういうことになったりするときもありますので、すべての子供たちにとって、より望ましい環境というのはどうあればいいのか。何とかこう、お考えいただけないかなと思っております。ちょっと上手に答えられませんでした。

保護者

私、地域の方からとしては、やはり学校がなくなるととても地域は一気に、衰退すると思います。学校はやっぱり一旦なくしてしまうと、もう取り戻せませんので、地域としても、地域の住んでる人が、地域の方がやっぱり、楽しく活性化をするためには、ぜひ残してもらいたいと考えます。ただ、今までいろんなお話の中で、やはり難しい部分も出てくるかとは思いますが、それをただ指くわえて少なくなるのを待つだけではなくて、これを教育委員会さんに話すことでもないのかもしれないのも、ぜひ教育部門だけではなくて、市全体ではそういうような取り組みを考えていただければと思います。ただもう、現状を見てそのまま、あと統合については、複式については、まだ複式までいってない状況であれば、まだ、今これ見ると、令和12年まではまだ大丈夫というような予想はされておりますので、まだ日前はありますし。私ども手前の話ではありますが、今年の2月に実は未就学児3人が金屋に引っ越してきてくれました。

そのまま金屋小学校に入れる空き家をですね、使って、そこに置かれて移住してくれた家庭が実はあります。例えば、ここで見れば1人2人の人数で、複式が排除できるのであれば、まだこれから地域とまちづくり協議会だったり、そういったところで協力をしていけばまだまだ、学校、1クラスずつの金屋小学校、保内小学校も含めて、やっぱり地域、この文化が残る2つの小学校が残る文化の荒川地区では是非あって欲しいと思います。それから指くわえて合併するのを待つのではなくて、みんなで何かこうできれば、もっとよりよい住みやすい地域になっていくのではないかなと思います。

保護者

私は統合に大反対です。これから利用述べたいと思います。まず1つ目。今の金屋小学校に息子が通っているんですが、とても少人数で、きめ細かい指導していただいております。理想は2学級ということでしたが、現実問題、目の前の息子を見ていると、とっても先生が一人一人に行き届いた教育をしてくださるのがわかるので、全く今の現状が、メリット多いです。あと学校行事が他方より多い。先生方はご苦労されてると思うんですが、こんなに行事が多い学校は他にはないと思います。

2つ目なんですが、やはりが、地域の中心はやっぱり学校だと思うんです。今まで廃校してきた学校をいくつか見てきましたが、やっぱり、廃校した地域から、廃れているなという状況です。行事が地域行事が少なくなったり、子供の活気がなくなったりしてるっていうのをやっぱり目の当たりにしているので、子供の将来を考え、現状維持がいいのではないかなと思います。地域の力が衰えると、子供への

教育も、落ちていくのではないかというそういう不安があります。私自身金屋小学校出身なんです、昔からミニバスケット、伝統あるすばらしい学校だと思っています。その愛着ある小学校がやっぱり統合によってなくなるっていうのは、とても考えられないので、私は統合には反対です。

ただ、この建設的な意見としては、お互いの保内小学校金屋小学校、行き来しながら、将来を見据えていくことは大事だと思うので、大反対だけれども、いつか統合の来る日が来ると思うのですが、そのための準備として、お互い意見交換とか、見学し合ったりっていうのは賛成です。以上です。

学運協

今日用意していただきまして大変ありがとうございました。
私も統合問題については、現職のときから内部でいろいろ協議した経験もありますし、学校の運営協議会としていろいろ検討したり、地域の皆さんでいろいろ話し合ったりして検討進めてきました。子供が減っていく現状で統合を考えるのは、これはいたし方がないことだなあと、私はそう思っております。
ただ、いろいろ含めて保護者の意見の中で、保内小学校の皆さんがいろいろ金屋のことを気を使っていたりなど感じておりますし、その中の意見で、逆の発想で言えばとありますが、統合するということより新しいことを作り出す考えでやっていただきたいとご意見がありました。教育長さんも、この荒川地域1つとして、この子供たちの将来を考えて考えていきたいというお話もありましたので、是非、こういう考え方を取り入れながら、この統合問題を進めていったらいいんじゃないかなと思っております。それぞれやはり、いろいろな立場で考え方はあると思うんです。新しいものを作り出す、そういう方向性を見い出して、この地域の方々を引っ張っていくとか、統合に向けて進んでいくというような姿が一番いいのかなあって、このアンケート結果を見て思っております。以上です。

学運協

今日は本当にありがとうございました。久しぶりにこういう会議に出させていただいて、私自身の中でも、ちょっとずつ考え方が変化をしていることを、自分自身で認めております。3点お話を申し上げたいと思います。

1つは、教育委員会の方に申し訳ないですが、先ほど経済的な理由から、財政上の問題から、はっきり言えないこともあるような話も伺ってますし、もう1つは、教育委員会の方々のお話を聞いてると、統合した場合、学校は、保内にならざるを得ないのかなと。いろいろお話は言ってらっしゃいますけど、保内にならざるをえないんだろうなということがわかっていながら、検討委員会にそれを委ねるとするのは、少しちょっともう少しはっきり先ほどの方ではないですが、姿勢を示した方がいいんじゃないかなという気がいたしました。そこしかない、新しい学校もつけれないので、そこしか物理的にはないのではないかなというふうに思っています。

2点目は、私は少人数はいいんですけども、本当に少ない子供たちの学校生活っていうのはやっぱり考えられないです。ある程度のニーズがないと、子供の社会性は育たないっていうのは私は感じています。やっぱり子供は子供の中で育つんです。幾らかきめ細かい指導を教師がしたとしても、子供は子供同士の中で育つものが非常に貴重なものもあることを私は経験として感じています。ある程度、適正規模の人数というのは必要なんじゃないかなと私自身は思っております。

3点目、例えば、保内小学校に校舎が決まった場合、金屋の子はバス通学になります。私が一番懸念しているのは、そのバス通学によって子供の学校生活、或いは子供自身の生活の制約が非常に大きくなるという点です。非常に時間に追われます。バスに遅れないように、バスに乗り遅れないように、バスの事故は、そういうようなことも私も経験してきましたので、そうなった場合、子供たちがやはり、ちょっと変な言い方ですけどかわいそうなことになるなあと、制約が大きなことになるなということ、金屋の子がそういうことを受けることが多くなるなんてことを一番懸念するところです。ですので、できれば、できるだけ先延ばしで、統合があって欲しいなど。しょうがないんです、子供たちが少なくなった場合。だから統合はでき

るだけ先延ばしということをお願いできればありがたいという風に考えております。以上です。

保護者

私が感じたことは、個人的なことなのですが、この概要版を見て、郷育の町村上ということで、郷に生きていることに自信と誇りを持ち、自らの進路を切り拓いていくことのできる実力（知力、気力、体力、徳性）を備えた子どもを育てていくということで、今回の統合の話において、焦点が当てられているのかその下にある項目のうち、望ましい教育環境の整備だと思うんですね、話を聞いていて。それでこうやってみんなに集まってもらって話をする中で、望ましい教育環境に関する考え方ということで、いろいろ話して下さったんですが、統合は仕方ないですよみたいな方向で、例えば設備が老朽化してますよとか、学校給食の調理場の確保も急務ですよとか、いろいろそういうのをたくさん伝えて下さったような気がするんですが、現実的な方向としてその統合がいいですよみたいな方法を1つ示していただいたと思うんですが、もう一つアンケートの結果で、金屋地区の方々が心配している、例えば学校がなくなってしまったら地域が衰退してしまうのではないかと不安の方のところに焦点を1つ持って行って、会議を開くときに、そういう建設的な方向、例えば皆さんはおそらく統合した方がいいだろうなっていうのは、心に少なからずあると思うんですが、そっちは理解できるんですけども、その人の心として、例えば残して欲しいなとか、学校が消えてしまったら、祭りだって衰退してしまうよなとか、人との関わり合い、子供たちも少なくなってしまうえば、高齢化も進むよなとか、いろんなやっぱり心配事とかあると思うんです。なので、その心の方に向けて、例えばそのおらだり基地を使って、すごく心配されてる方を集めて、いや、わかりますよ、そうですねとか、そういう気持ちは皆さん持ってますよねっていうような、ちょっと寄り添う、歩み寄るような感じの会だったり。大津の区長さんや遠山さんもおっしゃったように、やっぱり反対されてる方たちの中にはそういう嫌だっていうのは、やっぱり衰退していくだろうな、統合しかないなっていう気持ちはありながらもやっぱり嫌だっていう気持ちが強いからこそ、そういったアンケート結果にも出るんだろうし、どっちも言えないっていうのは、わかっていながらやっぱり嫌だっていう気持ちがあるわけですね。なので、やっぱりそっちな、なぜどっちとも言えないっていう結果が出てきたのかっていう、ここに目を向けて、だって、これから進んでいく老朽化とか止められないし、その体制的な問題がどのぐらい建てられるのかっていうのも決まってるわけですし、そこら辺は多分、資料で皆さんわかるだろうし、説明しても、大人の方々に理解できると思います。子供たちに関しては、子供たちが不安なんじゃないことがあったけれども、それをやっぱり反対している親のもとで、いや統合したらなんかバス通学になるよねとか、心配してれば子供も心配になりますね。なので、やっぱり説明は子供にも必要だけれども、それを見守っている地域の人とか、親御さんに説明をして、通じるような感じのセッションとかコミュニケーションっていうのも、取っていった方がスムーズに話が進んでいくんじゃないかなと私個人としては思いました。以上です。

保護者

私としては先ほど大津区長さんがおっしゃったことがほとんどになりますので、そこに関して申し上げませんが、ちょっと個人的な話になりますが私は賛成です。出すかどうか迷ったんですが、アンケート結果のときに申し訳ありませんがちょっと個人情報として出されまして、ちょっと読んだ方いらっしゃると思うので、誰が書いてるかばれてる状態ですのもう話をさせていただきますが、娘はもう、1クラスしかないところでいじめを受けました。はい。保護者会もあった状態です。今もう5年前の話になります。今でも心の病気として抱えております。その辺から踏まえて私は1クラスはもう、子供たちにとっていいことだとは思っておりません。はい。中学に入ったときに養教の先生とお話しながら、休みながら行きましたが、いじめがなくなっても、ずっと心に抱えてますんで不安定さが取れず、先生と話し合

いながら、やはりクラスを分けていただくとか、やっぱりそういう対処をしていただいですごくありがたかったです。なので少人数で、もちろん今はとても楽しく行ってます。学校ですごく良くしていただいでいます。今は何も不安はありませんが、やはり大きい、広い目で考えて、全くいじめのない学校というのはないと思っています。そういったときのことも考たら、私は統合ということは、賛成というふうになると思いました。なので、ちょっと反対の意見をやっぱり地域大人の考えとか、やっぱり子供のことを考えた上で、結果として出てくればいかなとは。教育委員会さんは、メリットを考えた上で合併した方がいいと考えた上で今の会議をしていただいでいますので、反対意見をやっぱり出される場合、意見としては必要だと思うんですが、やはりそれを押し通すのであれば、子供たちのために、どうすべきかという責任はきちんと持った上で判断していくべきかなと思います。以上です。

保護者

私前回の懇談会にも出席させていただいて、アンケートの結果とか、いろいろお話を聞いたんですけども、先ほどから意見があるかなと私も同じなんですけども。教育委員会の話を聞いてると、保内小学校使うってことにもう決まってるんだろうなっていうふうに取り受け取りますし、保内の方もきっと金屋の方も、保内を使うんだっていうところは、何かわかってるんじゃないかなと思うんです。それをどうして、保内を使うことにします、その上で、金屋小学校の皆さんが不安に抱えていることを1つ1つ解消していきましょうっていうふうに、どうしてならないのかなっていうのが、私は前回からの疑問でした。なので、もう先ほどから聞いてるともう保内押しなのがすごく伝わってきますし、もうみんなきっと保内を使うってのはわかってるんじゃないかなあという状況の中で、もうそこは決まっているんだ、教育委員会としては、いろんなその施設の面からいって、もう保内小学校使います、その上で、金屋小学校の保護者の皆さんが不安に思っていることっていうところを、やっぱり丁寧に解消していく必要があるんじゃないかなと思います。反対の人も賛成の人も少なからず、これから自分の子供が、保内に通うにあたって、どういうふうに、どんな学校生活になるのかなとか、地域はどういうふうになるのかな、場所の問題、やっぱり遠いので、その辺の心配とかもあるので、そういう意見に、やっぱり1つ1つ丁寧に答えていく必要があるんじゃないかなと思っています。

前回の懇談会での意見に対して、やっぱり何も回答が、記載されてないっていうのは、私はちょっとやっぱり残念だなというふうに思いました。以上です。

保護者

この度もこういう場を設けていただき大変ありがとうございます。私も今まで意見してくださった皆様と同じような意見はもちろんあるんですけども、その中で、統合について反対となったらしないよではないんですけど、そういうふうにお互い歩み寄らないんであればしないよという意見もあります。ただ、令和10年を目指すということでは、もうあるんですけど、やはりこれが、前回、ここにいる石井さんが言ったのかなと思うんですけど、お互いに1学級ですかね、なった段階で統合するということは、延ばすことは可能なかなって思うんです。私やっぱり聞いているのが、皆さん、ここに記載されてない部分で、もう保内小学校の校舎を使うんだらうとか、そういうこちらが勝手にもうそうだろうと思うような内容ではなく、逆にその統合についてはやはり、こうですよと、教育委員会の方は教育委員会の方で、もうちょっと落とし込んだ計画を提示していただければなっていう部分はちょっと感じます。それにつきまして、令和10年ではなく、ちょっと0に戻るかもしれないんですけどその段階で、またこの統合っていう話をするのは可能なかなと、すごく私感じます。例えば、この次の合同検討委員会、保内小学校とお話し合いの場が設けられた場合、金屋小学校側、保内小学校側で統合しようというふうな形で進んでいったとします。そのときに、我々が子供のために、こういうことはできないの

かっていう意見、絶対出るかとは思うんですけども、そこをちゃんと組んでいただけるのかどうかってのがすごく気になります。

市教委 例えば具体的にどういうことですか。

保護者 そこについてはちょっと申し訳ないですけど、この場でちょっと私も思いつきではないですけど、ちょっと伝えておきたいなと思ったことで言いましたけども。あと、その部分に、意見についてもそうですけど、合同統合検討会に入って、保内こうする金屋こうするってなったときに、教育委員会の方では、どの程度はまるのかなってというのがちょっと気になるんですけど。要は、あなたたち2校で決めたんじゃないっていうふうな統合の仕方は絶対駄目だと思うんですよ。その前にまず我々は納得しないといけない部分はあるんですけども。はい。私ちょっとそういうところが気になってます。

保護者 統合に関して、ちょっとどのようにこの資料出したのかなっていうのを説明をしていただきたくて、質問させてもらいたいんですけど。荒川地域の小学校児童数の推移なんですけども、令和7年、保内小学校通常学級に267人、金屋小学校に通常学級72、令和13年の保内小学校通常学級が206人、約マイナス60人。令和13年の金屋小学校通称学級が68人、マイナス4人。単純に保内地区の方が世帯数が多いと思うんですけども、金屋小学校の地区が、減少率が少ないのはなぜなのでしょう。また保内地区の方がこんなに減る原因っていうのは何なのでしょう。その辺をちょっと調べたことがあれば教えて欲しいです。また、子供が少なくなっている環境について、違う面で子供を増やす面に、学校の教育の方も担当ではないかかもしれないんですけど、そういった方向転換をして支援をしていけば、子供たちも、増えるのじゃないかなと思うんですけども。もう1点質問なんですけども。前回自分も質問してもらったんですけど、自分としては、統合はいつかせざるをえないって思ってます。ただ、時期的に、令和10年が正しいのか、それとも複式が金屋小学校も始まる令和12年、13年がいいのかっていうのが、その辺が検討すべきじゃないかなという。PTAとして、今金屋小学校を残して欲しいという意見もありますし、統合して欲しいという意見があります。私は反対でも賛成でもどちらでもないんですけど、いずれは、統合はしないとイケないと思います。ただ、その時期が令和10年が正しいのかっていうのが引っかかってます。また、この、先ほど言ったように、人数の推移が世帯数が多いのにもかかわらずこんなに減るっていうのがなぜなんだろうなという、そこを支援できればまた違って来るんじゃないかなっていうのが、私の個人的な意見です。以上です。

保護者 出身の小学校は保内小学校です。東京から転校して参りました。関係ないんですけど。先ほどから皆様のおっしゃる通り、やはり校舎を金屋小学校も使うかもしれないですよということを、以前お話していただいたんですけども、もう話の中とか、皆さんもやっぱり金屋小学校じゃなくて保内小学校使うんだなっていうのは、もう、体感として感じてると思っています。それは私もそう思ってますし、多分保内小学校で、会議とかあって、うかがわせていただいたんですけども本当に校舎も綺麗で、廊下も広くて、昔の小学校と全然違いびっくりしました。それで、石井さんが今ほどおっしゃられました通り、令和10年に統合するっていうのを、進めていくっていうのは本当にそれでタイミングとして合っているのかどうかって言うのは、やはり私もそう思っております。この先、必ず統合しないとイケない、子供は少なくなる、全国的に子供が少なくなります。なってます。なので、それは仕方ないと思ってます。だけど、令和10年に統合するっていうタイミングがどうなのかっていうところを、ちょっと今一度よく皆さんも考えていただきたいと思ってます。今PTA会長なんですけれども、PTA会長を抜きとして、小学校3年生の

母親とし、子供を持つ母親として言いたいことは、令和10年で統合してしまいますと、小学校6年生を統合した状態で、卒業するということになるんです。小学校で卒業できないんですよ。

市教委 それは必ずそういう年は生じますので。

保護者 それは生じると思うんですけれども、アンケートで3年生の父兄の方が、反対が多いというのは多分そのようなちょっと見て、そのように感じたので、この統合の検討会とはちょっと関係ないかとは思いますが、ちょっと3年生の親としてお話をさせていただきました。以上です。

市教委 今回の1つ目の、その人数の件ですけれども、令和10年度になると、金屋小学校さんそんなには減ってないんですが、保内小学校が3つの学年で1年、3年、4年で1学級になってしまいます。30人以上の1学級になる可能性がありますので、それは保内小学校にとって、親御さんにとって、子供たちにとって、先生方にとって、かなりの負担だろうと。まして、令和11年、もう1学級多くなりますし、令和12年になると、5学級、5学年が、全部1学級になる、そういう環境を教育委員会が作りたくないとお示ししてるんです。先ほど言われたように、クラス変えができる学校規模を当面維持したいと。そのためには、当初、教育委員会、令和9年度で案をお出ししたんです。それじゃ余りにも早いだろうとご指摘いただいて、令和10年度でご提案させていただいております。ということで、本当にこの荒川地域全体の子供たちにとって望ましい教育環境というのを両校の方々が、考えていただきたいと。それは、どちらかの学校が必ずなくなるわけですから、今まで統合してきたところもそうです。本当に悔しい思い、つらい思いをしてるの私、よくわかります。そんなのすんなりうんいいよっていう地域なんかございません。そういう中でどうは出したらいいのか、皆様方にご検討、責任あるこれからの地域の子供たちのことを考えてご決断いただきたいと思っております。

保護者 いままでこれはどうなんですかあなんですかって質問をさせていただくことがたくさんあったんですけれども、私がどういう立場かっていうのはそういえばお話ししたことなかったなと思ったので、回ってきたので、お話をさせていただきますが、私も今までPTAの石井さんとか佐藤会長さんおっしゃったように、子供が少なくなっている状況の中で、将来的には統合というものは必要なんだろうというのが、私個人としての本心であります。ただ、私がこうなんで、細かいことをいろいろお伺いするかというのは、やっぱり教育委員会の皆さんもお考えだと思うんですが、関わる皆さんの納得感を持って進んでいかないことには、いけないなど。後からしなればよかったとか、逆のこともありますよね。何でしなかったんだということになるのがやっぱり一番地域にとってよくないし、子供にとっても良くないので、議論を尽くしていただきたいと思って、あえていろいろ面倒くさい質問させていただいております。

今までの話の中で、私の中で懸念をしている点が2点あるので、お伝えさせていただきます。1点目は、地域は学校がなくなると地域が衰退するという話がありましたけれども、教育長さんは、地域の方で子供に関われば、それはそんなことはないとおっしゃっていただきました。半分あってるけれども半分違うなというふうな思いであります。金屋小学校は、どういう場所かという、保護者や地域の方が行事や学級活動を見に入っていくやすい学校なんですね、地域の人たちが子供を集めて地域で何かをやるっていうことではなくて、学校という場所に大人が入って行って、子供の教育活動を見て励ましの声は与えられるってところが、金屋小学校のいいところだなというふうに思っています。この部分がないと、私は寂しいなというふうに感じております。

2点目が、保内小学校と金屋小学校2校があるから、この荒川地区全体の教育環境というものがいいんだというに考えています。先ほど大島さんから、非常にせつないお話があって私も、胸が締め付けられる思いだったんですけども、私の個人的な考えでは、金屋小学校で6年間、保内小学校で6年間、別な背景で学んだ子たちが、荒川中学校で出会って、自分たちと異質だった存在を受け入れながら3年間学ぶから社会性が身につくんじゃないかな、私は考えています。9年間ずっとクラス替えはあるかもしれないですけど、慣れ親しんだ1つの学年で進んでいったとき、いずれ荒川を出て、荒川にも高校ありますけど、荒川を出てとか、地域を出て、新しい人たちと関わってそこで大きく成長していくという子供たちが大半だと思います。そういう意味で、私は6年間、金屋小学校で学んで、全く違ったことを学んできた保内の子たちと出会って、最初は喧嘩もするかもしれないし、仲たがいもするかもしれないけれども、最後はよかったねって言って、3年間経って卒業していった。私はそういうふうな経験を荒中でしました。なので、そういう出会いものというんでしょうか、が私は荒川地区のいいところだなと思ってますしそういうふうには育った子供たちは、高校に行ったとしても、異質な人たちとうまく関係を取り持つ力があるんじゃないのかな。少なくとも9年間ずっと同じ関係でいって、高校に行ったときに、全くよくわからない関係性の中に身を置くよりはいいのではないかなというふうな思いでいます。結論としては、令和10年っていうのは早いと思うので、できる限り例えば、令和13年とか、そういった段階にさせていただけるとありがたいなというところで、すいません長く話しました。

学運協 先ほど質問させていただいて、保内小学校がもう10年度から1クラスが多くなる。それが1つの10年度のスタートする、1つの理由だと、というお話を受けました。そうすると、令和10年で3学年が今見ると保内小学校は、2クラスが1クラスになる、けれども、逆にこの2年生なんか見ると、42だったのか、61になるから、逆に増えるわけですね。1クラスの負担が増えるわけですね。それから他の学年も、1クラス分の人数が増えていく。ということで、令和10年はプラスとマイナスがほとんど同じじゃないかなと、考え方もあるんですが、そういうところを考えると、やはり10年度では早いんじゃないか。で、やはり金屋小学校のことも考えれば、それはやっぱり保内小学校が2クラスにしたいから、本当はクラスってか、それだけではないんですけどもそれを基準に考えれば、金屋小学校として納得できるのは、やはり先ほどから複式学級等のものがあれば、ある程度仕方ないなというところがあるんじゃないかと思うので、プラスマイナスを考えていくと、12年度ぐらいがちょうどいい。私は今、計算じゃないんですけども、そう考えれば、金屋小学校も、何ていうんすかね、金屋小学校のご父兄の方で、いいなと思ってる方もたくさんいるわけですね。その方たちはいろいろあって、もうちょっとなんだけど、金屋小学校としても、プラスとして考えるんだったら、やっぱこの辺が一番、時期としてはいいと納得してもらえる時期じゃないかなと、いろいろ考えて今、私の中ではそんなふうに思います。検討いただければ幸いです。

保護者 先ほどちょっと聞き忘れたことがありまして2点ほど。私、わからない部分だったのでちょっと申し訳ありません。統合はできるだけ長くおくらせていただいた方がいいかと思っておる中で、その新設、例えば荒川小学校、というような場所は別としても、その選択は絶対ないものなのかどうか。

市教委 校舎を新築してっていう意味ですか。

保護者 違います。例えば保内を使うとしても荒川地区として、荒川小学校というような新設まるっきり新しい小学校をつくる、平等にということとは視野にあるのかどうか、選択肢はあるのかという。先ほど言ったように、本当は反対ですが、そういうよう

なものがあるのかどうかということ、ちょっと皆さんお話聞きながら、なんかないのかななんて思ったので、そこ辺の今の時点での、ことを教えていただければと思います。

あともう1点ちょっと違ったら申しわけないです。保内小学校のグラウンドで、何か放課後とか土日とか使えない、遊べないって聞いたんですけど。どうでしょうか。金屋小学校だと、遊んだりしてるんですけど、なんか保内小学校は全くこう入れないと聞いたんですが、それが実状で本当であれば、どういった事情なのかっていう。学校って皆集まる場所じゃないかなっていうのがあったので、それだけお願いします。

市教委 荒川小学校という選択肢があるのかというご質問ですけれども、それは合同検討会の中で、両方閉校して新しい学校を作りましょうとなっていて、その次の段階で統合推進委員会に入ります。そこで新しい校名を作るわけですけど、その中で、荒川小学校がいいねとなれば、そういうふうになります。先般の保内小学校の統合検討会でも、例えば荒川小学校というような新しいもの作った方がいいんじゃないかみたいな意見は出ました。あと、保内小学校のグラウンドの件ですけども、こないだ私確認したんですけども、子供たちが使っていていいです。はい。入れないってことはいいです。ただ保内小学校の前の通りありますよね。道路。あそこから入って入るのはできないので、裏の方から入って遊んでいるということは確認しております。

市教委 いろんな立場の方からいろんなご意見をいただいて、今日は大変実りが大きかったのではないかなと、個人的には思っているところですけども。今日のこの検討会、いろんな意見が出ましたので、ちょっとこの場でなかなか即答ができない部分もあって申し訳なかったのですが、皆さんが不安に思っているんだよっていうことについて、教育委員会としての考え方を、回答したものっていいですか。そういったものを、またこの次でしょうかね、第2回目が、もし、開催した方が、よろしいでしょうか。

教育長 お話し伺っている意見あることがわかりました。ただ、何となく全体の中で、いずれかの時期に、金屋小学校にとっても保内小学校にとっても統合が必要なんじゃないかというご意見が多かったように感じます。なので、この金屋小学校の統合検討会での、合同校検討会に進んだ上で、そこで、今後のこの地域の学校のあり方を、統合年度も含めて、話し合わせていただくということのお許しただけかもしれませんでしょうか。もうそこに進んでしまうと、もう統合ありきになってしまうっていうお考えもあるかと思いますが、またこの会を重ねて、2回目の統合検討会3回目の統合検討会ってやれば、結論が出るんでしょうか。そのあたり。

保護者 今の教育長さんのお話を伺いまして、合同検討会に進むというふうなお話でしたが、まずは賛成の方もおります。別に、すごい反対でもう絶対に反対っていうわけじゃないんですよ。反対の方もたぶん。必ず、そういうときがやってくると思っております。ですが、この話し合い、この中で、のりくらしとした回答しかえられない中で、この後合同検討会に進んでいいですか。ま、進みます。丸投げされました。後、どうすればいいかわからないんですけどいうふうな、教育委員会関係ありませんとかそういう話になったらこちらとしても困るので、今の時点で不安材料はなるべく消していきたいなくしていきたいと思ってるんです。だからこの意見が皆さんから出ると思うんですよ。なので、納得させるようなさせられるような回答をえられていないんです。

教育長 例えば現時点で今納得できないという幾つか挙げていただけませんか。もしこの場で、答えられたらお答えします。

保護者 統合はいつになりますか。

教育長 それは合同検討会で話し合わなければならないと思います。保内小学校さんは令和10年度の統合という点を了解して、合同統合検討会に進んでいただいております。

保護者 校舎はどちらの校舎を使いますか。

教育長 合同検討会で検討いたします。

保護者 行事の多く少なくなるとかそういうところで

教育長 それは特に、校長先生方同士で、教育課程を作るときに話し合っていかなければならないと思います。両校の考えが、ありますので、どちらかの学校に偏るといったことはないと思います。

保護者 ただ会長が引っかかっているところが、その負荷逆なところをこないだもご質問を私したと思うんですけども、後からそれは決まりますよっていうふうなご回答ももちろんそれは最もだと思うんですけども、負荷逆なところで、今、回答ができないところももちろんあるかと思うんですけども、その部分の不安が解消できないと。

教育長 ではどのようにお答えすればいいわけですか。今の時点で。

保護者 そうですね校舎とかはそうですけども、例えば行事とかは何かこう、こういう意見があったとか、その場で取り計らってもらえるものなのだろうかということですよ。

教育長 はい。行事についてはこれまでも何度もご説明させていただいた通り、今も言いましたが、両校の行事がございます。行事に対するスタンスもございます。それは、地域の子供たちにとって、金屋さんのそういう伝統的な本当に地域と一体となった行事、それはよくわかる、大切にしていってあげたいってなれば、そういうことを大事にしてくださいと、いやここはちょっと、荒川でやる青空教室、それは全校ではできないだろうと、ある学年でしかできないだろうと、規模を考えてやろうよとか、そういう意見も出てくるんじゃないかと思います。だから、両校で話し合わなければ、校長先生、決定できないんじゃないでしょうか。ちょっとご意見ください。

区長 すみません、ちょっと私プロセスそんなに詳しくないですけども、ちょっとその確認も含めてなんですけども、これ今日の会議を受けて、合同検討委員会に進んだ場合、先ほどの疑問が出てくる10年という目標が13年についていう議論を、合同検討会では可能だということなんですよね。それとも、合同検討会ってのは10年という案で、もう縛っちゃってるっていうわけではないんですよ。そこら辺で、多分それを13年もお互いの合同検討会の中で、そうであれば13年まで、ちょっと統合するのは、遅らせましょうという議論がそこでも成り立つということであれば、今日の会議を受けて、私は合同検討会に移ってもいいのかな。ただ、そうじゃない縛りがかかっているんだと、ちょっとみんなもやもやした状態で例えば、多くの意見では13年まで待って、もう十分いいんじゃないでしょうかっていうご意見もかなりあつ

たわけですし、その辺の合同検討会の位置付けってのはどうなってるのかによって、ちょっと判断をしにくいんじゃないでしょうか。だから、今日次に移っていいですかって質問されても、なかなかどうだろうというふうになっちゃうんで、そこの議論もできますよということと、プロセスであれば、十分この今日の意見もね、次のところで全部反映させますと、その中でどんどんでいろいろ疑問点も解消していきますということであれば次のステップに進むということも、いいんじゃないか。そうでないとですねこの議論はつきり言って、教育長、ずっと重ねてもですね、同じ繰り返しになっちゃうんで。だから、その間にはいろいろ教育委員会からお答えしていただくこともいっぱい、先ほどお話あったようにしていただければいいと思うんですけども、1つのやっぱりステップとして考えないと、やっぱり繰り返しになっちゃうんじゃないかなと思うんで、この合同検討委員会の位置付けってのはちょっとお知らせし、教えていただければと思います。

教育長 双方の学校で将来的に統合するということを了解合意いただいたと。そうすると、2校が合わさっての、これより人数の少ない会になりますけれども、合同統合検討会という位置付けの会議に移ります。そこで決めるのは、まず、学校、どちらの学校を使うのか、使用校舎、それから統合の形態をどうするのか、両校とも閉校するのか、片方の学校しか閉校しないのか。それから、統合年度、それぞれの考えが、先ほど、保内小学校のために統合するのかというご意見がありましたけれども、決してそうじゃありません。金屋小学校の子供さんたちにとっても、保内小の子供さんたちにとってもよりよい統合のあり方、特に統合年度、それはいつなのかということ、両校で話し合えばならないと思います。なかなか結論に達しないときは、最後は多数決になります。これまでも、それは致し方ないことになってくるのではないのでしょうか。その点を了解していただかないと、合同検討会に進むことはできないと思います。

区長 すいません、今のちょっと今のお話、要約しますと、統合年度、先ほど来、基本的に私聞いてると、合併はもう絶対嫌だっというのは多くの意見じゃなくて、将来的にはそういうことをしていかなざるをえないんですねっていうのが、多分皆さん考えてる基本、全体的な合意形成できてるかなあと思うんですが、それでご意見であったのは、統合年度を少し10年じゃなくてももう少し先でもいいんじゃないかというご意見もかなりあったようですけどもその方々も統合、真っ向から反対云々っていう話はされてるわけじゃないんですよ。そうすると、その合同検討会議で、その年度も議論になるのであれば、そこで十分議論する過程は踏めるわけですよ。そしてそういう過程をもう保障していただけるということであれば、その議論に進むことはやぶさかじゃないんじゃないかなというのは、ちょっと私の意見です。そしてそのために、じゃあその一方的にとか、何ていうかそういうんじゃないかとお互いの意見を出し合って疑問点は教育委員会の方もどんどん解消するように努力をしていただいて、そしてお互いにこういう将来の姿が見える形で合同会議が開催されて、合意形成されて、次のステップに行くっていうようなことを、保障できればですね、どうなんでしょうか、次のステップに行くっていうのは、特段問題ある話じゃないんじゃないかなと思うんですけども、そういうことでよろしいですよ。

市教委 はい。先ほどの教育長の説明ありましたけれどもちょっと補足も含めてお話させていただきます。その統合の時期の決定のプロセスは、次の合同検討会の、その次の段階で統合推進委員会っていうのがあるんですけども、そこで正式に決定をしていただきます。ただ、ほかの地区の学校統合でも意見たくさん出たんですけども、合同の中でも統合の時期もう1年遅れたほうがいいんじゃないかというような議論は、その中でも交わされますので、そこは話し合い次第では、統合の時期というのは、令和12年ということになることもありうるというふうに考えていただきました。

いと思います。

学運協 究極の質問をしますけれども、次の合同検討委員会に進むということは、保内と金屋はいずれのどういう形にしる統合するということを承認されたということって
ことですか。次の会議に進むってことはそういうことですか。そこはちょっと
今いつなったら、そこがはっきりするのかなと思ってる。

市教委 はい 次の会議、合同に進むということは方向性として、統合に向かうって
いうことを決定された、統合に向かって進んでいこうという地域合意が形成された
っていうことになろうかと思えます。

学運協 ていうことは大きな決定ということだとらえてよろしいですね。

市教委 はい

学運協 わかりました。ありがとうございました。

保護者 その合同検討委員会に進むという決定は、また今日ここでしないといけない
んでしょうか。進むということで、進むということにしないと、帰れない
んでしょうか。また、ちょっとそれだけ確認したいなと思ひまして。

学運協 できれば、この検討会で、決断。

保護者 はい。

市教委 すいません。私の方から次のステップのスキームの合同検討会の今のところ市
教委で考えてるメンバー構成をお伝えさせていただきます。各学校とも、15
人を想定してあります。内訳としまして、学校の保護者3名、保育園の保護者
が3名、これが保護者枠で6ですね、あと地域の方で6、この内訳として区
長様が3名、CSの方が3名、それから学校側、校長先生教頭先生、また
保育園の園長先生にもお願しようかなというところ、これで15人いう
ことを想定しております。両校とも同じ数でということと考えて
おります。以上です。

市教委 それでは、夜時間あれですんで、本日のこの金屋小学校の検討会
でご意見出ましたけれども、次のステップの合同統合検討検討会に入る
ことを了承していただけますでしょうか。

区長 はい。

市教委 そうしましたら、拍手をお願いしていいでしょうか。

拍手少数

市教委 そうすると2回目の検討会でしょうか。

区長 堂々めぐりですよ。何回しても同じだと思うんですよ。皆さんに
意見聞いたんだから。

市教委 次の合同統合検討会で、保内小学校の皆さんと話し合いをして
いただいけませんで

しょうか。

学校長 多分そこで後戻りできなくなることを懸念されているはずなので、後戻りできなくなることを懸念してますよね皆さんね。前の教育委員会の説明の中でも、そこで決裂もあり得るっていうお話だったと思うんですけど。

教育長 合同統合検討会で決裂ということはありません。それはないです。時期を探る。

学校長 探る、わかりました。

区長 いや、私らはちょっと地域のもんだからあれなんで、ちょっとこれ以上言っちゃうと、なんかちょっとまずいかなあというふうに思っちゃうんで、むしろ今PTAの皆さんとかさ、合同検討委員会に進むことに、躊躇ということがあれば、それをこう言ってもらったほうがいいんじゃないでしょうね。たぶん教育長もそういうことを言われているんだと思うんで、躊躇するようなことが本当に今日決められないような案件であれば、もう1回やったほうがいいと思うんですけど。そうでなければ、どっかでは判断しないと駄目ですよ。その辺だけちょっとこういう、そういうことじゃないとまた次やっても、ちょっと疑問に思うんですけども。年度については、議論できるって言うてるわけだから。

保護者 すみません。疑問としてというか、こういうことはあるのかなというちょっと質問としてなんですけれども、例えばこの合同検討会、令和7年に、この後開くってことで。

教育長 今年度にもうすぐ、保内小も合意いただきましたので金屋小学校さんが合意いただければ、適切な時期に、9月中なのか10月中なのかわかりませんが、開催させていただきます。

保護者 例えばその令和7年8年9年とかの3ヵ年ぐらいを使って、例えば学校見学するとか行事をどうするとか、見学したりなんだりして、令和10年ぐらいに、再度、令和10年ぐらいにこの合同検討会をスタートするとかっていうスキームはないってことなんですね。

教育長 いや、令和10年度に統合するという考えもあるわけですから、そこはあくまでも合同検討会の中で話し合っ、時期を、決めていくわけですから、なるべく早い時期に合同検討会を設けなければならないんだと思います。

保護者 何かわかんないです。個人の意見かもしれないですけど、これだけの意見があっ、令和13年ごろであればという話があるのであれば、7年に今スタートして8、9とやって10年に統合のスキームなんだったら、10年に再度合同検討会議を開いて11、12と検討して13に統合をできれば、みんなうんていうのかなとか。

教育長 だからそれはこの金屋小学校さんの検討会のお考えですので、保内は保内の考えでございますから、すりあわせていただいております。

保護者 それはできないですね。はい、承知しました。

教育長 何とか合同検討会に進ませていただけませんかでしょうか。

保護者 皆親として、今の教育長さんからの回答も含めてですが、要は、いろんな思い金

屋小学校という立派な学校への思いがあるから、ある意味感情ですよね。そういうのも、無視はできない。ただ、さっきの話からすると、今年度中に、令和7年にはもう、合同統合検討会に行くんだってという話、さっき須貝さんの質問に対してはそうだったと思うんですけども、そうしちゃうと、これは推測ですけども、もう10年の統合の、かなり革新的なので、進むのかなという、これも感情ですけど。それで進むような、思いが出ちゃうんですよ。それだと、何かやられたねっていう雰囲気になり得るような、だからみんなそういうのを心配があるから、この場ですぐ結論出してくださいって言われても出せないんですよ。

要は信頼できないんですよ、悪いけども。そこら辺は今までの話だと、丁寧な説明をやるんだって説明したのに、ここにいきなり結論出してくださいって言われても、もやもやがずっとあるもんだから、はいいいですよとは言えないのが正直な気持ちかと思います。他の方がいかがですか。

教育長 本当に1年でも仮に統合するにしても、1年でも長く、地域に学校残したいというお気持ちは本当によくわかります。そういうお気持ちも十分わかる中で、その統合年度については、両方で、それこそ合同検討会、何回開催しなければならないかわからないくらい話あわれればいいんじゃないでしょうか。そこ非常に大事な問題です。ただし、統合に進むという前提は崩していただかないように、今日統合に進むという方向の結論をお出しいただきたいんです。

教育長 両校で話し合いの結果、13年度あたりが適切だろうとなれば、それなりの期間ありますので、時間的余裕がありますけれども、もし10年度が適切だとなれば、本当に新たな学校を作るときに、仮に新しい校歌作ったりとか、そういうのに、少なくとも1年以上はかかりますので、今のうちから合同検討会に着手しないと駄目なんです。よその地域でもそのように取り組んでいるところです。

教育長 何とかご理解いただけませんか。

保護者 先ほどの教育長さんのお話の中で、次のステップ合同統合検討会では何度も相談が可能のような発言されてたんですけども、この統合検討会っていうのは、1回きりで終わりなんですか。

教育長 よその学校、これまでこれを2回やったことはないですね、ありましたっけか。

保護者 よその検討会ではなくて、前に進むためには、今いるメンバーが納得しないと次に進めないと思うんですけど。次のステップでは、ここにメンバー全員が合同検討会にはメンバーにならないですよ。このメンバーを納得させないと次に行けないと私は思うんですけども、その辺はどう考えてますか。次のステップに行くってことはこのメンバーの、意見の合意を背負った形が行くわけです。その次のステップでは何度も検討できるのに、この統合検討会は、この場1回限り。

教育長 例えば何をクリアすれば、次にを進めるとお考えなんですか。

保護者 何度もお話ししてますけど、たくさん意見が出た中で、回答が出てないのがほとんどです。その回答を提示して。

教育長 例えば、ペーパーでは出してお出ししてませんけれども、口頭ではかなりお答えしたつもりなんです。

保護者　　すいません、教育委員長さんの回答で、回答になってるのかなってという点のところから、

教育長　　だから、例えばなんですか。

保護者　　先ほど、名割の区長さんの発言で、区長会で合併ありきで進みますという説明を受けました。この場で反対になれば、次に、次といいますか、統合には進まないのかといった点についての回答が回答になってなかったと、私は思うんですよ。

教育長　　いや、私きちんと説明させていただいたつもりです。最初の金屋小学校での保護者会でも説明いたしました。

保護者　　教育長さん、ちょっと自分の話聞いてください。単純に、今日、区長会では合併ありきで話しましたと。だけど、この場で統合に進まないという結論になれば、次に進まないんですよっていう回答について、そうですよっていう回答ではなかったです。

区長　　ちょっとね、ちょっと誤解ある。区長会の際は、合併ありきっていう議論じゃなかったです。区長会としては教育委員会からこういう合併のスケジュールをやって、こういうふうにしていくっていうことで、これから進めますということで、合併ありきっていう話では、確かなかったと私は把握してます。ただ、その時にいろいろ区長会からの意見はありましたけども。ただそういうことなんで、何かそこはちょっと誤解があるかもしれません。区長会でも合併を、もうやるんだよっていう前提で全部やれよっていうような話の案件は、確か2月の段階ではなかったというふうに思いますんでそこはちょっと訂正させていただきます。

保護者　　はい、ありがとうございます。簡単に言うと先ほど次のステップに進んでいいかっていう同意を求めたときに、賛同する方が少なかったということは、皆さん何か引っかかっているんですよ。その状況で、次にステップしていいのかとなると、私はちょっと疑問があります。やはり、この検討会を繰り返しになるかもしれないけども、回数を重ねて、ここにいるメンバーが納得して次に進むべきではないかなと私個人は思います。以上です。

教育長　　いや、皆様いかがでしょうか。

区長　　皆さん納得しないのであれば、もう1回会議を開いて。

保護者　　皆さん何も拍手しないじゃないですか。それをどうつけますか。皆様、こういう状態で次に進みますか。

教育長　　いやだから。

保護者　　なんか急いでる気がするんですよ。

教育長　　わかりました。

保護者　　教育長さんの説明を聞く限り、次に急ぎっていう感じがあって、検討会の中で検討すべきじゃないですか。これは回数重ねてもいいんじゃないかなと思うんですよ。

じゃあなんで次のステップに何回も検討するんですか。その説明の回答おかしいです。やはりここにいるメンバーを納得させないと。

教育長 いや私言ったのは保護者会すでに2回開かせていただきました。そして今統合検討会で3回目。金屋小学校の保護者の皆さんには3回目のご説明です。

保護者 何回も開催してもらって大変ありがたいんですけど、これは本当に将来を考えることなので、回数ではないと思うんですよ。ここにいるメンバーが将来を決めるメンバーなんです。じゃ勝手に統合すればいいじゃないですか。皆さん意見があって、ちゃんと意見を言ってるのにその回答がないから、

教育長 例えば本当に何に対して回答してないと思われるんですか。

保護者 ほとんどですね。

教育長 だから具体的に言ってください。

保護者 その次のステップに行ったときに、統合ありきでもう進むと。退避ははできないと。まず合同検討会に行くか行かないかっていうのは、この統合検討会で、相談して結論を出すっていう方向ではなかったでしょうか。

教育長 そうです。

保護者 それをこんなに急いで求めますか。

教育長 急いでる。

保護者 私は急いだと思います。この統合検討会で、次のステップに行くのか行かないのか、よく協議をした上で次のステップに行くと、前回そういうふうに説明をして、私はそう受けとめたはずなんですけども。ここで統合のステップに行かないで結論になれば、統合はしないと。そういうお話でしたよね。

教育長 そうです。それが荒川地域の子供たちの将来に責任を持った発言であれば、それはもう、受けとめるしかないと思います。

保護者 その責任を持った発言を1回開催されたこの検討会で、すぐ次のステップに行くってというのは、ちょっといかなものかなという。

教育長 わかりました。かなり時間押してますので、この検討会、もう一度、何となるかわかりませんが、もう1回開催しなければ、結論を出せないと思われる方、挙手いただけませんか。11人くらい。半数いかないんですけども、人数が少ないからいいっていうわけじゃないんですけども、必要ないというわけじゃないんですけども、半数以上の方は、今、そのようなご意見ではないんですけども、どう受けとめればいいのでしょうか、教育委員会として。何とか合同検討会の場で、金屋小学校さんは金屋小学校さんの保護者の意見をまとめたりするような場を設けながら出られるとか、そういうふうにできませんかね。学校のあり方ですから、学校運営協議会、CSでも話し合う大事な議題だと思います。そういうのも、もちろん設けるのもいいかと思えますし。

保護者 すいません、ちょっと私の認識が甘かったって部分でもあるんですけども、

本当に統合検討委員会というものが、その合同統合検討会へ行く1つ前のものとして、事前に、それこそ教育長さんの口から事前にもうちょっとお話いただければなっているのは正直今、正直感じております、そういうふうに説明してくれたかもしませんが、私の認識が甘かったかもしません。

それで、校長先生もちょっとお話して下さったんですけど、統合委員会に行ってしまうと、統合戻れるっていう認識も若干私の中にもありました。でもそれはもう、次へ行ってしまうともうできない。もう統合するんだよって決まったっていうことになりますと、やっぱりなかなかその人によっては、後出しジャンケンされたみたいで、そういう部分で納得できない部分もあるのかなっていうのをちょっと正直感じております。事前にこうだよこうで、ここの場はこういう会なんだよと。もっと明確に言っていただければ、ここに参加する気持ちっていうんですかね、そういうのがもっと違った上で、もっと論理的な意見等が出たのかなってちょっと感じております。そういう部分では、合同検討委員会に行ったら、統合するっていうのがここで承認されてしまう。その中でやはり、そちら側としては、令和10年を目指すので、今みたいな形で来られるのかなと、やはりちょっと思っています。これが本当に先延ばしできるのかどうかっていう、確約を逆にいただくことってできないんでしょうかね。

教育長 それは、今、皆様方に何度も言うように、保内の皆さんは保内の皆さんのお考えがありますので、だから合同検討会で、調整していただいけませんかとお願いしているところです。

保護者 はい。すいません、もう1回ちょっと同じこと聞くんですけど、逆に、合同検討会に行って、お互いに話した結果、やっぱりやりません、お互いがやりたくないですっていうふうな結論なった場合は、統合をしないんですよ。

教育長 それは致し方ないんじゃないんですか。

保護者 そういうことですよね。はい。

教育長 それが将来の子供たちに責任を持った考えだったら仕方がないんだと思います。

保護者 それにつきましても、両校で決めたってことですからね。そういうことですもんね。はい。

区長 今日ご出席のいわゆる金屋小学校の子供たちをずっと見守っているPTAのみなさんにもお考えいただきたいのはですね、是非もう一度ですね、仮にこの検討委員会を開催するとすれば、それまでに一定のですね、やっぱり整理をやっぱりしてもらわないと、多分教育委員会も何回もですね、提案してもですね、もう堂々めぐりになっちゃうんじゃないかと思うんです。

それと私今日聞いてますとですね、基本的に絶対嫌だっていう意見は、ほとんどなかったように私は聞いてます。ということは、時期の問題、不安ないろんな要素の問題、将来的な問題いろんなことはまだわからないことがあって、ちょっと不安ですよとか、時期についてはもう少し先で十分じゃないですかって意見がかなりあったわけですよ。

そうするとそこら辺で、さらに今日、教育委員会の方からですね、次のステップにいきますかっていうのに答えられないのであれば、次回、もし、もう1回やっていただけるとすればそんなときにはですね、一定の整備をしておいて、こういう問題についてはどうなるかっていうものを整理してもらってですね、やはり次の判断はですね、しないと、結局、中途半端になったままですね、この問題はですね、ずるず

るなっちゃってですね、教育長おっしゃってるように、本当に子供たちの5年後10年後の将来見据えてやってることなんで、そこを十分考えてくれっていうお話をされてるわけですから、やっぱそこをですね、ちょっといわゆるこの子供を持つ親とか地域側としてもですね、一定のやっぱり判断をせざるをえないんじゃないかなというふうに、思うんですけども。そういうことを前提にしてもしあれであれば、もう1回この場を設定してもらって、次には結論を出すよというような議論にしていただけないんでしょうかね。

そうでないとちょっと、せつかくこういうふうに集まった議論をですね、なんか振り出しに戻るような形になっちゃって、もともともうやめちゃえて話になっちゃっていいのかどうかですよね、その辺も含めて、ちょっとどうなんでしょうか。整理していただいて、次、もしできるのであればもう1回必要であればそういう会を設けるということで、整理していただくわけにはいかないんでしょうかね。すいません私が行うことになる立場ではないんですけど、はい。

教育長 じゃ、もう一度開催するという方向で、よろしいでしょうか。

教育長 賛成ね。すごく勢い良く手上げられた。

市教委 それではもう一度、この検討会をするということで、それでは、今日のところはこれで終わりにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうかはい。

市教委 それではPTAの皆さんと、何を整理したらいいのかについてご相談させていただければなと思います。その後に日程をまた調整をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。はい。ということで今日はこの検討会、これにて終わりにしたいと思います。大変皆さんありがとうございました。

以上